

重点項目 8 脳卒中の減少

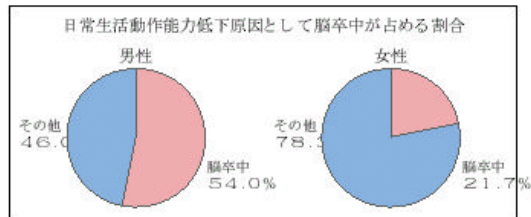
- 1 スローガン ●生活習慣の改善と自分の健康を把握することにより、脳卒中による死亡、機能低下を防ごう

2 現 状

脳卒中は健康寿命の大敵

自立した生活を阻害されている人のうち男性では約5割、女性では約2割が脳卒中によるものです。

※日常生活動作能力（自立した生活を行う能力）低下原因として脳卒中が占める割合は男性54.0%、女性21.7%

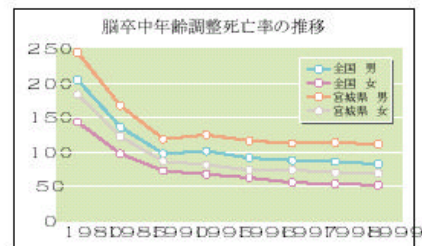


H11要介護状態となることと関連する指標の検討と測定に関する研究、報告書

宮城県の脳卒中死亡率(注)

宮城県の脳卒中死亡率は全国平均より約20%高く、全国順位は男性第3位、女性第1位です。

死亡率は、低下してきているものの低下の程度は鈍化しており、横這いになっています。

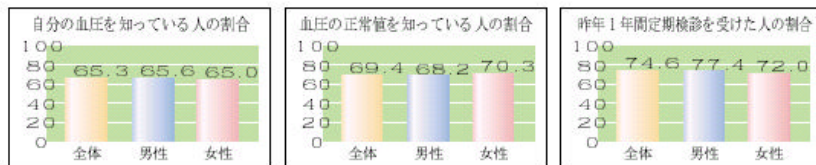


H11人口動態統計

自分の健康状態をチェックしていますか？

脳卒中の危険因子には高血圧、糖尿病、高コレステロール血症などがありますが、これらはほとんど何の症状も起こさないまま進行します。

したがって、これらについては自分でチェックする必要がありますが、自分の血圧を知っている人の割合は、全体で65.3%（男性65.6%、女性65.0%）、血圧の正常値を知っている人の割合は、全体で69.4%（男性68.2%、女性70.3%）、昨年1年の間に定期検診を受けた人の割合は、全体で74.6%（男性77.4%、女性72.0%）であり、約7割の方が自分の健康状態を把握している状況です。



I-I12 県民健康栄養調査

(注)「死亡率」は、年齢調整死亡率を指す。

3 目標値

項 目	現状（2000年）	目標（2010年）
自分の血圧を知っている人の割合	65.3%	80%
血圧の正常値を知っている人の割合	69.4%	80%
定期検診受診率の向上	74.6%	80%

4 具体的施策

項 目	推進主体	推 進 内 容	対 象
健康の自己管理に関する知識及び意識	県、市町村 医療機関等	・インターネット、健康教育等により、健康に関する正しい知識の普及を図り、家庭血圧計などにより自分の血圧値を把握する等健康の自己管理に関する意識の啓発を行う	県民
健康診査受診率の向上	県、市町村 職域	・健康診査の必要性について普及啓発を行い、受診勧奨を図る	県民
脳卒中の実態把握	県	・脳卒中登録管理事業を充実し、脳卒中の罹患の正確な実態把握を図る	

5 目標値達成により期待される成果

生活習慣を改善し、「食塩摂取量の減少」など各論での目標値を達成することにより、脳卒中死亡率は下記のとおり低減すると試算されます。

項 目	現 状	目 標	死亡率の低減
食塩摂取量の減少	13.8 g	12.5 g	男性 10.6%
カリウム摂取量の増加	2.9 g	3.2 g	
多量に飲酒する人の減少（男性）	12.5%	7.0%	
日常生活における歩数の増加 男性 （早歩きもう10分/日の増加）女性	7,431歩 6,705歩	8,400歩以上 7,700歩以上	女性 9.6%
肥満者の割合の減少	—	3.5%の減少※	
非喫煙率の増加 男性	43.8%	62%	23.7%
女性	86.3%	92%	10.5%

※目標は男性・女性それぞれの年代以上で設定しているため、概算の目標値とした。



目標値を達成することにより、脳卒中死亡率は男性で約35%、
女性で約20%低減すると期待されます。